

社会福祉法人一羊会 ご意見・ご要望解決の状況

令和6年4月～令和6年7月分

受付・解決件数

	事業所名	施設種別	受付件数	解決件数	未解決件数	経過観察中
1	相良保育園	保育所	0	0	0	0
2	あおぞら保育園	保育所	1	1	0	0
3	つくしの家	児童発達支援 放課後等デイサービス	0	0	0	0
4	つくしの家	児童相談支援	0	0	0	0
5	つくしホーム	生活介護	0	0	0	0
6	こづつみ作業所	就労継続支援B型	0	0	0	0
7	第2こづつみ作業所	就労継続支援B型	2	0	0	2
8	こづつみ寮	共同生活援助 (グループホーム)	0	0	0	0

ご意見・ご要望の主な内容と対応状況

主な内容	対応状況
<p>(あおぞら保育園)</p> <p>・園児があごを噛まれてしまった。迎えが遅番になるので、遅番職員に状況を伝えてもらった。後日連絡帳に、“今後やったやられた等トラブルがあった時は、遅番の先生の話だけでは理解が難しい時があるかと思うので後日で良いので連絡帳にて詳細を教えてください”と書かれていた。</p>	<p>・担任・園長・主任が対応が不十分だったことを謝罪した。今後、遅番等で担任が直接話しができない家庭には、電話で連絡することにし、全職員で共有した。</p>
<p>(第2こづつみ作業所)</p> <p>・朝、近隣の住人の方が来所。利用者の中の一人を指差して「あの利用者が、ペットボトルの蓋を溝に捨てるし、ボトルは道路に捨てるし、しっかり指導してほしい」と苦情があった。(お名前・住所は伺っていない。)</p>	<p>・その場で謝罪し指導することを伝えた。朝の会・帰りの会で全体に向けて苦情があったことを伝え注意すると共に、どこで捨てたのか確認しようと帰宅時に同行した。バス停まで付添うが、本人はなかなか聞く耳を持たなかった。折に触れ繰り返し伝えている。その後も同じ場所に空き缶やゴミが捨てられていて、拾って片付ける。7月に入ってから同じ場所に捨てられているようで注意喚起の看板が置かれていたため、再度帰宅時に同行し、飲んだら空き瓶は自宅に持ち帰るように助言指導を行い経過をみている。</p>
<p>(第2こづつみ作業所)</p> <p>・5月の夕方、利用者が道路で小便をしていたと法人内の事業所に通う保護者から連絡があった。場所・時間・背格好から利用者の誰か特定することができた。</p>	<p>・対象の利用者が帰宅する際、作業所を出る直前に(タイムカードを打刻する前)トイレに行くよう声掛けをし、用を足してから作業所を出るように支援し経過をみている。</p>